

平成23年度檜山管内婦人防火クラブ研修会レポート

平成23年10月9日(日)厚沢部町・町民交流センターあゆみ



札幌市で開催された「北海道婦人防火クラブ連絡協議会総会」に出席し、2日前に戻ったばかりの3役、厚沢部町での地元開催と準備も重なったため多少お疲れ気味の木口会長ですが、大災害をテーマとした研修会とあって、引き締まった内容となりました。



主催者挨拶の後、厚沢部町長の歓迎を込めたお言葉をいただき、来賓からは北海道消防協会檜山地方支部より長門副支部長が登壇した。クラブ会員の参加は119名となった。



特別講演を熱心に聞く会員119名。 演題は「語り継ぐ～津波の教訓」第34回全国消防職員意見発表に参加して / 奥尻消防署：三浦 浩 「東北地方太平洋沖地震・緊急消防援助隊の活動を振り返って」 / 江差消防署：小田島隆一 2名による大災害をテーマとした講演は、3月11日の東日本大震災を決して風化させない意識と、災害の多い檜山管内の地域住民の守り方等、防災リーダー的人材の資質向上へ向けた内容となりました。 6月より義務化された「住宅火災警報器」の設置を促しながら、研修会終了後、開催地を代表しての「防火宣言」を【厚沢部町赤沼町婦人防火クラブ：木口会長】が宣言し、滞りなく終わりました。



厚沢部町長様、各消防団長及び副団長様、各消防署長・支署長及び職員の皆様、そして準備段階より御足労頂きました厚沢部消防署の職員一同様、婦人防火クラブ会員一同より格段の感謝を申し上げます。 (事務局)